のなかの 区議会だより

No. 2 9 1　令和8年(2026年)11月23日　編集・発行 / 中野区議会

〒164−8501　中野区中野4−11−19
（区議会事務局）電話 03−3228−5585
FAX 03−3228−5693
（中野区役所）電話 03−3389−1111（代表）
Eメール kugikaijimu@city.tokyo-nakano.lg.jp
ホームページ https://kugikai-nakano.jp/

▲区議会 HP

2026 なかの東北絆まつり









10月24日（土）、25日（日）に「2026 なかの東北絆まつり」が行われ、東北各県の祭りが披露されました。
写真は、オープニングセレモニー（左上）、青森ねぶた祭（右上）、秋田竿燈まつり（左下）、盛岡さんさ踊り（右下）の様子です。

第3回 定例会

令和7年度決算を認定

区議会は第3回定例会で、令和7年度決算5件を認定しました。また、「令和8年度中野区一般会計補正予算」など区長提出33議案のほか、議員提出5議案を可決し、副区長の任命に同意しました。

第3回定例会は9月7日から10月16日まで開かれました。

9月7日から3日間、24人の議員が区政課題について、一般質問を行いました。

この定例会では、令和7年度中野区一般会計など、5会計の決算の認定のほか、中東情勢対応資金に係る経費の増額分などを計上した「令和8年度中野区一般会計補正予算（第3次）」など、計33件の区長提出議案を審議しました。そのうち、31件を全会一致で、2件を賛成多数で可決しました。

また、計7件の議員提出議案を審議し、そのうち4件を全会一致で、1件を賛成多数で可決し、2件を賛成少数で否決しました。

このほか、副区長に青山敬一郎（あおやま けいいちろう）氏を選任する提案に同意しました。

陳情については、3件を採択し、9件を不採択とし、1件を継続審査としました。

主な掲載記事

区政をただす……2〜5面
決算を問う……6〜9面
決算に対する各会派の見解……10面
可決した議案……11面
可決した意見書……11面
陳情の審議結果等……12面

決算審議の状況

令和7年度の一般会計、用地特別会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計の各歳入歳出決算は、全議員を構成員とする決算特別委員会に付託されました。

決算特別委員会では、はじめに、22人の委員が決算全体の総括質疑を行った後、総務、区民、厚生、建設、子ども文教の5つの分科会で、分野ごとに審査を行いました。

10月1日の本会議では、委員会での審査経過を報告した後、採決を行い、一般会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計の各決算を賛成多数で、用地特別会計決算を全会一致で、それぞれ認定しました。

決算の審議に当たり、次の議員が討論を行いました。

一般会計決算の認定について

◆賛成討論
杉山　司　（立国ネ無）
山内　あきひろ（自民）
日野　たかし　（公明）
羽鳥　だいすけ（共産）
内野　大三郎（都ファ）
石坂　わたる（無所属）
斉藤　けいた（無所属）

用地特別会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計決算の認定について

◆賛成討論
石坂　わたる（無所属）

令和7年度 各会計決算額

（対前年度伸び率）

■一般会計
歳　入
2,070億7,872万7,370円　(9.3%)
歳　出
2,010億5,531万9,845円　(8.5%)

■用地特別会計
歳　入
11億4,773万4,648円　(3.9%)
歳　出
11億4,773万4,648円　(3.9%)

■国民健康保険事業特別会計
歳　入
336億9,218万9,979円 (△0.6%)
歳　出
333億7,853万9,979円 (△0.6%)

■後期高齢者医療特別会計
歳　入
86億6,039万8,582円　(4.0%)
歳　出
85億8,214万0,982円　(3.8%)

■介護保険特別会計
歳　入
263億3,159万1,497円　(2.4%)
歳　出
258億5,389万0,092円　(2.1%)

第3回定例会 区政をただす 一般質問

災害時の避難環境を整えよ

立憲・国民・ネット・無所属議員団　河合　りな



①7月の熊本地震では、暑さに起因する新たな課題が浮き彫りとなった。二次避難所となる施設に大型ポータブル電源等の導入補助を検討してはどうか。②電源やクーリングスポットの確保に向け、関東バス株式会社との協定を見直してはどうか。③避難所トイレの衛生管理の改善は、排せつの我慢といった悪循環の解消にも有効である。し尿回収業者とのトイレ清掃に関する協定を見直してはどうか。④多様な障害対応を災害時トイレ計画へ盛り込むとともに、モバイルトイレも検討してはどうか。⑤被災後の児童館職員による避難所巡回など、子どもの居場所確保を地域防災計画などに位置付けてはどうか。⑥獣医師会との協定を見直し、被災時のペット相談窓口を開設してはどうか。

区長　①非常用電源を備えていない施設に、区からポータブル電源や冷房機器の提供などを検討する。②協議している。③協定を締結している。③検討を進める。

今後の財政運営について問う

自由民主党議員団　伊藤　正信



近年、一般財源は増加傾向にあるが、歳入の増加分については新たな起債の抑制に積極的に活用する必要があると考える。区の見解は。

区長　将来の地方債残高をコントロールする視点を持って、起債の抑制については総合的に検討する。

区の災害対策を問う

①令和8年熊本地震及び千葉豪雨で明らかになった課題について、区はどのように情報収集・検証を行っているか。②災害の教訓を地域防災計画や今後の防災施策等に反映していくか区の考えを伺う。③記録的豪雨が区内に発生した場合、道路冠水等についてもリアルタイムで把握し、通行規制や避難情報へ迅速につなげる仕組みや、冠水センサー等の追加整備を含めた更なる強化を検討すべきと考えるが、区の見解は。

区長　①国や関係機関等による検証が進められている段階と認識している。②国等からの情報や被災地の知見を踏まえ、区の防災施策に反映していく。③冠水センサーを含む新たな技術の動向や他自治体の取り組み状況を注視する。道路冠水時の対応については、関係部署との連携及び対応手順の整理に努める。

若者・単身者支援を進めよ

公明党議員団　木村　広一



①若者実態調査の速報値を全庁で共有し、必要な課題は令和9年度予算や施策の改善に反映してはどうか。②30代の調査の分析を40・50代の単身者施策に繋げ、年代によって相談や支援が途切れない仕組みを検討してはどうか。

区長　①速報値を全庁共有し、施策改善や予算に活かす。②年代間の関連を把握し、関係部署で連携を検討する。

地域防災の実効性を高めよ

熊本県で災害ボランティアに参加し、災害ゴミの片付けが生活再建に重要だと感じた。①災害ゴミは優先処理基準を定め、自力で片付けが難しい方の搬出も支援してはどうか。②高齢者等に分電盤型感震ブレーカーを取付工事まで支援してはどうか。③河川沿いにサイレン時の行動を示す看板と水位情報への二次元コードを設けてはどうか。

区長　①災害状況を踏まえ処理方針を決め、搬出支援の連携を検討する。②都補助を活用し工事を含む支援を検討する。③河川付近への看板設置等も検討する。

アニメの区民還元を進めよ

①児童館等の身近な地域でアニメ制作等を体験できる機会を広げてはどうか。②体験を創作・発表へ繋げ、次の創作へ続く循環を構築してはどうか。

区長　①モデル実施を含め、体験機会の充実を検討する。②継続した創作につながる、成果発表の機会を広げる。

病児保育を使いやすくせよ

空き確認、仮予約、取消し、キャンセル待ちを一画面で行える病児・病後児保育全施設共通の予約システムを令和9年度中に導入してはどうか。

区長　区民の利便性向上を図るため、予約システムを導入したい。

避難所における性暴力防止の取り組みを図れ

日本共産党議員団　いさ　哲郎



避難所での女性に対する性暴力を防ぐ対策として、第三者が問題を見過ごさず行動するアクティブバイスタンダーの考えを取り入れてはどうか。

区長　避難所運営組織や避難者が共通認識を持ち、見守りや声かけなどで被害を未然に防ぐ取り組みを進める。

最低居住面積水準を維持せよ

今年3月の閣議決定により、住生活基本計画から最低居住面積水準が削除されたが、区は憲法を根拠とする最低居住面積水準を維持すべきでは。

区長　健康で文化的な住生活を営む基礎となる住戸規模を確保するため、当面は現行水準を維持していく。

中野四丁目西地区の再開発における住民合意を推進せよ

何年も住民合意されず、事業主体である市街地再開発組合の設立も目処が立たない状況で都市計画決定すべきでは。

区長　区民の利便性向上を図るため、予約システムを導入したい。

中野駅新北口駅前エリアのまちづくりについて問う

都民ファーストの会中野区議団　内野　大三郎



中野駅周辺のまちづくりは、将来の財政基盤をどう作るかという問題でもある。①住宅戸数等上限の設定根拠を伺う。②今後、住宅床が拡大し、他の都市機能が圧迫されることがないよう、区はどのように担保していく考えかを伺う。③区は定期借地権を活用するという条件で、事業者が採算性や市場性を確保できると判断したのか、判断に当たっての検証方法についても伺う。

区長　①事業者のヒアリング結果等により設定している。②事業者公募の審査を行う際等、区の考え方に沿っているかを採点の視点に加えていく。③専門家等の知見を得ながら検討しており、現時点で事業は成立し得ると考える。あることを明示し、労働報酬下限額以上の支払いがされていない場合は直接区へ申し出る手段を担保している。制度の周知徹底を図っていきたい。

ミドル期単身世帯の増加を見据えた支援を図れ

単身世帯が増加する社会を見据え、終活や死後事務などの将来の備えに関する普及啓発や情報提供の在り方をどのように考えているか。

区長　人生後半期の備えについて、自分自身の課題として考えることができるよう啓発していきたい。

公契約条例の趣旨を踏まえ現場従業者を守れ

区は、事業者がチェックリストを提出することで労働報酬下限額以上の賃金が支払われたとみなしているが、下請業者も含め、書類等により客観的に確認すべきではないか。

区長　下請業者も対象でないと考えるが、どうか。

区長　必要に応じて地権者との意見交換等を行いながら、都市計画決定を目指す。



ご利用ください

●声の区議会だより

目の不自由な方のために、区議会だよりを朗読録音したCD・デイジー版CD「声の区議会だより」を発行しています。

郵送により無料で貸し出します。利用をご希望の方は、区議会事務局（電話03-3228-5585）まで。

視覚障害者の方へお知らせください。

マチイロ
マチを好きになるアプリ
スマホやタブレットでなかの区議会だよりが読めます
(iOS用)　(アンドロイド端末用)

哲学堂公園再整備に「妖怪」を活用せよ

立憲・国民・ネット・無所属議員団　ひやま　隆



哲学堂公園は、創設者である井上円了博士の哲学思想を体現した名勝であり、現在その再整備が進められている。今夏、小学生の息子の「妖怪」をテーマとした自由研究で、哲学堂公園に何度も足を運んだ。園内に点在する妖怪にまつわる文化資源を巡る中で、同公園が単なる「哲学」の場にとどまらず、井上円了が体系化した「妖怪学」の拠点という独自の歴史的文脈を持っていることを改めて実感した。

妖怪というテーマは、老若男女問わず幅広い世代の関心と知的好奇心を惹きつける極めて強力なコンテンツである。「水木しげるロード」で有名な鳥取県境港市など、妖怪を活用したまちおこしの事例は全国各地に見受けられる。今後の再整備に当たっては、歴史的・景観的価値の保全を図りつつ、この「妖怪」という魅力あふれるコンテンツを最大限に活かしながら、子どもから高齢者、観光客まで多様な人々が集う、更なる賑わいの創出と魅力あふれる公園づくりを目指してはどうか。区の見解を伺う。

区長　哲学堂公園には、別名「妖怪門」と呼ばれる哲理門があるなど、妖怪との親和性があり、活用の工夫次第では、魅力的なコンテンツになり得ると認識している。現在も哲学堂公園では妖怪を活用したイベント等を開催しており、引き続き指定管理者や関係機関と連携しながら、「妖怪」に係るイベント等を企画することで、更なる賑わいの創出と魅力あふれる公園づくりに繋げていきたい。

拙速な新北口駅前エリア再整備事業計画改定を見直せ

自由民主党議員団　高橋　かずちか



拙速な再整備事業計画改定を見直し、時間をかけて議論するべきと考えるがどうか。

区長　検討の各段階で区民や議会等の意見を伺い、可能な限り早期の実現を図る。

私道整備助成制度の見直しを検討せよ

測量経費や部分的な整備に対する助成などを検討しては。

区長　より利用しやすい制度の在り方を検討していく。

中華民国（台湾）との国際交流の進展について問う

①区内のアニメ漫画関連資源との連携手法は。②民間交流の可能性は。③学校間の交流を、どう具体化するのか。

区長　①観光振興や文化交流、地域経済の活性化につながる取り組みを検討する。②食文化や地域資源を活かした交流を検討する。③オンライン交流から具体化し、スポーツ、文化活動、将来的な相互訪問へ交流を広げていく。

江古田住宅の建替え計画に地域貢献の視点を反映させよ

隣接する江原小学校も活用できる方策など、地域貢献の視点を計画に反映させては。

区長　地域や関係機関の意見を踏まえつつ、必要な都市計画を定めていく。

「中野区版・ベーシックサービス」の政策を構築せよ

公明党議員団　甲田　ゆり子



①命、健康、生活の尊厳を支える基本的なサービスについて、所得・年齢・介護度等の要件の妥当性や、対象拡大や無償化等に係る財政負担と効果を全庁的に検証し、その結果を「中野区版・ベーシックサービス」として体系化し、政策や予算に反映しては。②介護事業所の人材不足の実態、人材紹介会社への支出等について、早急に実態調査をしては。③介護人材への住宅支援や定着支援、外国人介護職員への合同研修や交流支援等、区独自の支援策を構築しては。

区長　①既存サービスは各所管で見直し・改善を行い、全庁的な調整が必要な事項は優先度を踏まえて検討する。体系化については、先行自治体の事例を調査・研究する。②既存調査で採用・離職状況や業務負担等を把握したが、不十分な事項もある。現場の状況を伺い、追加して把握すべき事項や調査方法を検討する。③他自治体の取り組みも踏まえて検討する。外国人職員への効果的な方策も事業所連絡会と連携して検討する。

誰もが移動しやすいまちづくりを推進せよ

①路上駐輪の状況や民間の駐輪場の使われ方を把握し、商業施設に対して、利用しやすい駐輪環境の整備への協力を求めていく。②開桃園跨線橋の中野駅側に310台分設置する届出が出されている。③JR東日本の関連会社に中野駅での実施を働きかけたい。

区長　①路上駐輪が多い場合は、施設管理者に利用者への案内や自転車の整理を依頼しており、引き続き協力を求めていく。②12月に開業する中野駅の駅ビルは、駐輪場がどこに何台分設置されるか。③中野駅をモデルとして、JRやアトレ等と連携し、無料のベビーカー貸し出しサービスを試行的に始めてはどうか。

3Rを推進し、資源の有効活用を図れ

日本共産党議員団　武田　やよい



①イベント時におけるリユース食器の使用は、身近なところのごみ減量や啓発、町会を始めとした地域団体への支援にも繋がると考える。リユース食器の貸出事業を実施に向けて検討すべきでは。②区は、第5次中野区環境基本計画で、徹底した資源化、再生素材や再生可能資源のリサイクルを施策として位置付けるとともに、第5次中野区一般廃棄物処理基本計画で、ごみとして収集した物の資源化、新たな資源品目の回収を挙げている。地域や企業と連携し、ごみの発生抑制・リサイクルを進める手段を広げていくべきと考えるが、区の見解は。

区長　①ごみ減量や環境行動の啓発に有効と考えており、地域団体における利用意向の把握や、先行事例における課題を整理していく。②企業では、循環型社会形成の取り組みの一つとして、「水平リサイクル」が進められており、そうした資源回収において、企業は自治体をパートナーと見ており、連携の提案も受けているところである。区の3R推進にも寄与することから、地域との連携も含め、仕組みの構築を検討していく。

平日日中の子どもの居場所整備を通じた不登校支援を

①共働き家庭が多い中、小学生の子どもを一人で家に残していくことは心配であり、学校とは異なる平日日中の居場所が求められていると考えるが、区の見解は。②こども家庭庁の補助事業である、児童育成支援拠点事業を活用した小学生の平日日中の居場所について、当事者である子どもと保護者の意見を十分に聞き、検討すべきでは。

区長　①共働き家庭の増加に伴い、不登校児童が安全・安心に過ごせる平日日中の居場所の確保は、重要な課題であると認識している。②当事者である子どもや、保護者のニーズの把握に努めるとともに、他自治体の状況にも注視しながら、検討していく。

在宅避難の環境整備に関する取り組みを推進せよ

都民ファーストの会中野区議団　大沢　ひろゆき



区は、約34・5万人の区民の内30万人以上が在宅避難になると想定している。①停電時でも在宅避難者が涼をとれるよう、クーリングシェルターや路線バスなどを活用すべきと考えるが、区の見解は。②停電への備えを支援するため、東京都の補助金を活用し、蓄電池の普及を図るべきでは。③上下水道が破損した場合でも使用可能なトイレカーなどの導入を進めてはどうか。

区長　①区有施設に加え、民間施設などの活用も有効であり、検討していく。②蓄電池を含めた家庭内備蓄の促進に取り組む。③計画的なトイレ確保策を検討していく。

酷暑対策の着実な拡充を

7月時点でクーリングシェルターとTOKYOクールシェアスポットを合わせて48カ所、民間施設は2カ所の状況から何カ所まで拡充したのか。

区長　総数は93カ所で、民間施設は48カ所に増加した。

平和の森公園ドッグランの更なる環境改善を進めよ

照明の改善の必要性と実施時期に関する区の見解を伺う。

区長　改善が必要であり、9月中に工事実施予定である。

アウトリーチ体制の見直しに取り組め

立憲・国民・ネット・無所属議員団　斉藤　ゆり



①複雑化・複合化した地域生活課題に対応するため、「包括的な支援体制」構築が求められる。区のアウトリーチ体制における、継続的な個別支援、多機関連携、地域ネットワークの構築といった機能の所管と、果たすべき責務は整理すべきだと考えるが、見解を伺う。②町会・自治会は地域のつながりを支える重要な役割を担っている。地域支援の一環として、地域の実情に応じた伴走型の活動支援に取り組んではどうか。

区長　①各機能を担う主体の役割や責務等を整理し体制の再構築に取り組む。②職員が活動の場に出向くなど支援の強化・充実を図っていく。

実効性ある交通安全対策を

中野区の道路は狭く、危険な箇所が多い。関係多機関と連携し、道路や交差点ごとに状況を分析し、対策を講じ、更に対策後の効果検証まで行う仕組みを、今年度改定する第11次中野区交通安全計画に盛り込んではどうか。

区長　現在、計画の改定を進めており、そうした仕組みも併せて検討する。

事業進捗を適時公表せよ

野方駅から井荻駅間の連続立体交差化の進捗状況は適切な時期に知らせてもらいたい。特にまちづくりや区民への影響が大きい事業の構造形式が高架化なのか地下化なのかについては、どのタイミングで公表されるのか伺う。

区長　令和10年3月まで行う調査で検討し、結果を都市計画素案説明会で提示する。

「区議会だより」は各戸配布しています

区議会だよりは、各戸配布により区民のみなさまのお手元にお届けしています。

また、区施設や駅の広報スタンドなどでも手に入れることができます。ご利用ください。

【問合せ】区議会事務局

生涯の歯と口の健康を支えよ

自由民主党議員団　山内　あきひろ



①9～10カ月児健診に「歯の萌出チェック」の追加を都に訴えては。②20代及び30代を対象とした成人歯科健診を導入しては。③75歳と80歳の間の76～79歳の空白を埋める切れ目のない高齢者歯科健診体制を整備しては。④運営体制確保に向け、スマイル歯科診療所の委託料を適正に改定するなど支援を行っては。

区長　①項目追加を都に働きかけている。②対象の拡充を検討する。③事例を研究する。④委託料は適正に算定しており、人材育成や事業承継に必要な支援を検討する。

若者の居場所を拡げよ

①札幌市の先進事例に学び、区内全中学校を直接訪問して卒業前の状況を確認し、若者の現場へ出向く攻めのアウトリーチ体制を構築してはどうか。②サポステ事業を若者支援センター内に誘致し、相談から就労まで一貫支援しては。③中高生や若者が求める機能を既存施設へ積極的に導入し、予約優先枠を設けるなど、膨大な予算をかけず既存施設をサードプレイス化しては。

区長　①他自治体の先進事例を参考に手法や効果を研究する。②誘致の考えはない。③事例を研究し、利用促進につながる取り組みを行う。

障がい者とご家族への支援を

公明党議員団　平山　英明



①スマートフォンを使った手続きが増えている。スマホやタブレットを日常生活用具の給付品目に加えるべきでは。②在学中はICT機器の活用・学習環境が整っているが、卒業後に個人で同様の機器環境を維持・継続する公的助成が十分ではない。また、意思表出・生涯学習を目的としたICT支援が「訓練等給付」の枠組みである構造的課題もある。学ぶ権利の継続のため、解決すべきでは。③スマイル歯科診療所は障がいのある方等の口腔ケアを担う中野が誇る先進モデルであり、事業継続は欠かせない。専門医等の育成、引き継ぎでの人件費等を委託に含める検討をすべきでは。④公設のグループホームが望ましいのではないか。

区長　①継続して見直しを図る。②他自治体の取り組みや制度上の整理も踏まえ、支援の充実に努める。③必要な支援を検討する。④公設での整備も含め、効果的・効率的な方法を検討する。

中野駅周辺まちづくりにインクルーシブデザインの観点を

①ユニバーサルデザインが基本であるが、今後は障がい者をデザインのパートナーとし、スマート改札の導入等AIやICTを駆使した近未来モデルとなる整備を目指しては。②改定する中野駅新北口駅前エリアの計画に加えては。

区長　①インクルーシブの視点も配慮する。②理念を踏まえ、誰もが利用しやすいまちづくりの検討を進める。

防災倉庫の規模を拡充せよ

資機材が増えて取り出しが困難との声がある。更新時に大きいものへの変更や、求めがあればサイズアップの協議を行う体制を構築すべきでは。

区長　地域の需要と公園機能への影響を考慮し、関係所管と調整して対応する。

ICTを活用した国際交流を推進せよ

立憲・国民・ネット・無所属議員団　大塚　けいじゅ



オンラインによる国際交流には、様々な課題があると想定されるが、課題を整理し、台北市の学校とオンラインの国際協働型学習を実施しては。

教育長　課題を整理した上で、学校の意向も踏まえながらモデル校を選定し、実施に向けて検討していく。

中小企業に寄り添った支援を

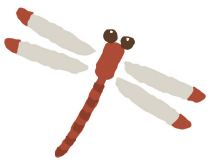
①中東情勢対応資金においては、あっせんから融資実行までに約4週間かかっている。不安を抱える中小企業のため、取扱金融機関に対し、受付時の所要期間の説明や、審査が長期化した場合の進捗連絡について協力を求めてはどうか。②金融機関と意見交換を行い、申し込みの集中で生じた課題や好事例を共有し、今後の制度改善に生かすべきでは。

区長　①標準的な所要期間や進捗状況を案内していただくよう協力を求め、事業者が安心して制度を利用できるよう努める。②今後、意見交換を行い、課題や改善点等を把握するとともに、制度の効果や運用面について検証していく予定であり、制度の利便性や実効性の向上に繋げる。

当事者の声を聞いたインクルーシブな公園を整備せよ

インクルーシブ遊具を導入する公園周辺の区有施設のトイレには、ユニバーサルベットの配置を検討すべきでは。

区長　施設種別等から、一律に配置することは難しいが、配置の在り方を検討するに当たり、インクルーシブ遊具を導入する公園周辺の区有施設への配置も考慮したい。



ご当地ナンバーの導入を推進せよ

自由民主党議員団　大内　しんご



①ご当地ナンバーについて、中野区と、新宿区または渋谷区の自動車登録台数を合わせた場合、要件を満たすのか。②来年度以降の次回募集に向け、近隣区に新たなご当地ナンバー協議を働きかけては。

区長　①合わせると制度上の登録要件を満たす。②近隣区との協議については、自ら声をかけ、働きかける。

屋外運動施設の酷暑対策を

①子どもたちのために、少年スポーツ施設である平和の森公園、本五ふれあい公園、白鷺せせらぎ公園などで、酷暑対策を講ずるべきではないか。②上高田野球場ベンチに移動式スポットクーラーなどと、更衣室前の休憩用ベンチにテントや、ミストシャワーなどを設置してはどうか。

区長　①夏季の早朝開放以外も検討する。②更なる酷暑対策を検討する。

未利用地の有効活用を図れ

長年閉鎖管理され、維持費がかかる旧北部教育相談室と旧鷺宮すこやか福祉センターの跡地活用として、建物を解体して暫定的に時間貸し駐車場等にするなど、検討しては。

区長　今後、建物を除却した土地の暫定活用についても検討を進める。

まちづくり時のデータ取得と分析の必要性を問う

立憲・国民・ネット・無所属議員団　杉山　司



まちづくりとは、そのエリアの課題を解決しつつ、新たなまちを形成することである。整備後は効果を検証し、想定した効果が得られない場合は、対策を講じなければならない。そのためには、データが必要である。①スマートフォンの位置・人流データ、ナカペイ利用データなどの各種デジタルデータを分析し、活用していくべきではないか。②サーモグラフィや浸水データ、風力データなども取得しつつ、行政が俯瞰的な視点でデータを検証し、必要に応じて指導などを行うべきではないか。

区長　①データの有用性について研究したい。②建物所有者に対し情報を共有し、必要に応じて対策を促したい。

中野区×台湾アニメの制作を

①双方を舞台としたアニメコンテンツを制作すべきである。双方のアニメ制作会社などを交え、まずは区主導で実現の可能性を協議しては。②「聖地巡礼」など、完成した作品を観光資源として活用し、中野ツーリズムなどの環境を整備していくべきではないか。

区長　①実現の可能性を探っていく。②観光振興につながる取り組みを検討する。

「はじまりの街・中野」を問う

区が持つ「はじまりの街」という唯一無二の価値を「表現者のたまごが最初に選ぶ街・中野」へと更に発展させ、次世代へ引き継ぐべきでは。

区長　区の価値を高め、シティプロモーションに生かし、次世代へ引き継いでいく。

区有施設の予約を柔軟化し区民の利便性向上を図れ

自由民主党議員団　武井　まさき



①新しい施設予約システム導入後の予約や支払い方法、画面の操作性について、区は利用者からの意見・要望を把握しているのか。②今後のシステム改修や運用改善にどのように反映していくのか。③現在の利用時間の区分について、利用者のニーズや施設の利用実態をどのように捉えているのか。④区民活動センターなど、現在の固定的な時間枠にとらわれず、施設や時間帯に応じて、柔軟な利用時間の設定を検討してはどうか。

区長　①抽選や手続きに関する問合せを受け、利用ガイドの改定などを行っている。②必要性や優先度を精査し、より使いやすいシステムへの改修を検討していく。③利用者からの意見・要望などを通じて利用実態の把握に努めている。④施設の特性や時間帯に応じた、柔軟な利用時間の設定を研究する。

補助金の交付手続きを見直し防犯カメラの設置を促進せよ

補助金の概算払いや受領委任払いを導入することで、地域団体が設置費用を全額立て替えることなく、より利用しやすい制度に見直すべきでは。

区長　一時的な資金負担が設置促進の妨げとならぬよう、概算払いの検討を進める。

道路大会に参加



第37回東京都道路整備事業推進大会が、10月13日、砂防会館で開催されました。

中野区からは、議長をはじめとする議員代表のほか、関係職員などが参加しました。

デジタル技術を活用せよ

立憲・国民・ネット・無所属議員団　**いのつめ　正太**



①生成ＡＩの利活用についての効果検証で、作業時間の削減をはじめ、具体的な成果が確認された。新たな活用の可能性を発展させるためにも、来年度予算に向けた生成ＡＩの更なる利活用に対する区の考えを伺う。②区民の声は事業ごと、部署ごとにアナログ的な手法により管理されている。データとして「蓄積・整理」することで、政策立案に活用できる行政データとして整備していく考えはあるか。

区長　①ＭＳ３６５ Ｃｏｐｉｌｏｔの有料ライセンス拡充を含め、効果的な導入の在り方や活用方策を検討する。②デジタル技術の活用も視野に入れながら、全庁的な活用も見据えた意見集約の在り方について検討していく。

住宅政策の充実を

①全世代の転出理由で、いずれも首位は住環境であり、住宅政策によるアプローチは必要不可欠と考える。ライフステージや世帯構成の変化に応じて適切に住宅を循環させていくことも重要であるが、中間所得層以上の子育て世帯には現状リーチできていない。住宅循環の視点を持って、中間所得層以上の子育て世帯へ支援を拡充すべきではないか。②空き家に対する総合的かつ気軽に相談できる体制が求められているが、東京都の制度に一本化している。区独自の相談体制を整備しないのか。

区長　①他自治体の取り組みも参考にし、検討している。②都の相談窓口を活用しながら、協定締結団体と連携し、支援を更に充実していく。

敬意が感じられる平和事業に改善せよ

無所属　**むとう　有子**



①平和の森公園内平和記念碑の前面がコーン囲いの駐輪禁止エリアになり碑を読む場ができたが、敬意を払い花のプランター囲いにすべきでは。②平和資料展示室が過去の展示のみで、過去を伝承し現在を認識して未来を展望する場になっていない。改善すべきでは。③中野区の空襲展は説明不足で写真が傾き汚れもあり、熱意がない。学芸員の配置など質の向上を図っては。

区長　①適切な管理に努める。②他自治体を参考に検討する。③検討を進める。

住宅リースバックの周知を

自宅売却で代金を受領し、賃貸で住み続ける不動産取引だが、家賃値上げや強制退去等の課題を周知するべきでは。

区長　周知啓発に努める。

障がい者等が能力を発揮できる職場環境を整備せよ

無所属　**石坂　わたる**



障がい当事者職員のリーダー育成や、当事者同士のネットワーク形成の支援をしては。

区長　事例研究を進める。

非正規職員の正規化を進めよ

優秀な職員を中途からの正規化を含む長期雇用としては。

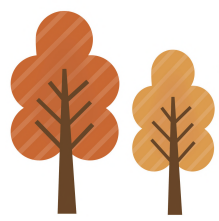
区長　経験者採用選考の受験を勧奨する等、人材の確保・活用に取り組みたい。

ＬＧＢＴへの理解を増進せよ

①委託や非正規を含むＬＧＢＴ当事者職員の不安を把握し、理解研修の改善をしては。②学校では保護者への啓発等を行う環境づくりが必要では。

区長　①匿名性に配慮した職員アンケート等で丁寧に声を把握し、改善につなげる。

教育長　②学校と保護者が連携し、環境づくりに努める。



中野区議会ＨＰ

https://kugikai-nakano.jp/

本会議、予算・決算特別委員会をインターネットでご覧いただけます

中野区議会のホームページから、本会議、予算・決算特別委員会の様子をインターネットでライブ中継及び録画配信しています。

ぜひ、ご覧ください。

中野区議会定例会（一般質問）をテレビ放送しています

中野区議会では、Ｊ：ＣＯＭチャンネル中野で、議会のテレビ放送を行っています。内容は、各議員の一般質問などの録画放送です。

放送予定などは、決まり次第、中野区議会ホームページに掲載します。

ぜひご覧ください。

みんなでみてね「わたしたちの中野区議会」キッズページ

中野区議会ホームページのキッズページでは、議会のしくみをわかりやすく説明しています。ホームページの「わたしたちの中野区議会」の中に掲載しています。どうぞご利用ください。



中野駅周辺におけるタワマン規制を問う

無所属　**小宮山　たかし**



中野駅周辺には、新たな住宅やタワーマンションを新築しないよう神戸市や横浜市のように条例で規制すべきでは。

区長　中野区都市計画マスタープランや、中野駅周辺まちづくりグランドデザインＶｅｒ．３に基づき、条例で規制することは考えていない。

「中野の森プロジェクト」の在り方を見直せ

区はこれ以上区内緑化はもうできないと計６０００万円以上かけて群馬県や福島県に、「中野の森」を作っているが、諦めてはいけない。区内緑化の余地はまだあり、「中野の森」は区内に作るべきでは。

区長　環境基金には、より賛同が得られる施策展開が必要であり、「中野の森プロジェクト」の充実も検討する。



新たなすこやか福祉センターの開設時期を問う

無所属　**立石　りお**



新たなすこやか福祉センターの開設に当たっては、現場に混乱や不安が生じないよう万全を期す必要がある。予定していた令和９年度の開設に間に合うのか。

区長　昭和区民活動センター移転後の施設改修に時間を要することなどから、開設時期を繰り延べ、令和10年度中の開設を予定している。

中野駅周辺での帰宅困難者対応訓練を実施せよ

南北通路の供用開始後、実際の動線に即して計画の実効性を検証するため、駅周辺を中心とした帰宅困難者対応訓練を実施してはどうか。

区長　駅周辺の整備状況に合わせ、関係機関や事業者等と調整を図り、帰宅困難者対応訓練の実施を検討する。

災害からペットと飼い主を守る避難体制を整備せよ

無所属（日本維新の会）　**斉藤　けいた**



災害時におけるペットの避難場所について、東京愛犬専門学校の活用を求めてきたが、令和８年３月13日の防災対策調査特別委員会で、まずは地域の避難所へ避難し、必要に応じて同校へ移動する運用が示された。①同校への直接避難の可否及び、地域の避難所から移動する際の判断基準は。②移動した際の飼い主の滞在や宿泊、同室避難の可否は。

区長　①移動判断基準は、避難所の管理責任者または獣医師が、当該場所での生活または管理が困難と判断した場合を想定しており、受け入れ規模の関係から直接避難は考えていない。②飼い主の滞在・宿泊も可能であり、当該施設の収容状況に応じて、ペットと飼い主が同室避難できる方向で検討している。

猛暑下の清掃従事者の夏季手当を増額せよ

無所属（いのちの党）　**井関　源二**



現在の清掃業務従事職員手当７００円では、飲料水代でほとんどなくなるため１００円程度に増額できないか。

区長　増額する考えはないが、安心して業務に従事できる環境整備に努める。

少年自然の家の安全対策を

①災害時の避難者受け入れ備蓄体制は。②熊出没リスクへの安全確保対策は。

区長　①約３日間の食事提供は可能と見込むが、避難者備蓄はない。②近隣出没時は軽井沢町と連携し対応する。

中野四丁目西地区市街地再開発事業を問う

新しいタワマンに、従来と同じ環境で入居できるのか。

区長　権利者の意向等に配慮しながら事業を進める。

河川大会に参加



第64回東京河川改修促進連盟の総会及び促進大会が、８月６日、調布市グリーンホールで開催されました。

中野区からは、議長をはじめとする議員代表のほか、関係職員などが参加しました。

令和7年度 決算を問う



総括質疑 決算特別委員会

決算特別委員会では、9月15日、16日、17日、18日の4日間、22人の委員が決算全般について質疑を行いました。



立憲・国民・ネット・無所属議員団
間 ひとみ

防災DXの進捗状況

問 令和7年度の防災DXは、どのように進んだのか。

答 災害時の通信機能強化や避難所運営デジタル化、要支援者の安否を迅速に集約・共有する仕組みを検討している。

問 災害対策本部でのAIの活用を推進することで素早い判断と行動につなげては。

答 活用に向け検証する。

長期休業中の食の支援

問 子どもの食の支援ニーズが高まる中、夏休みに子どもにおにぎりを食べさせる活動を行う団体もある。補助事業を活用するなど支援しては。

答 都や国の補助金の活用など対応について考えたい。

発達支援体制と組織間における連携の課題

問 療育相談からサービス利用開始までに2カ月ほどかかっている状況の改善を重ねて求めてきたが、現状はどうか。

答 現在も同様である。

問 新たな児童発達支援センターの機能の検討の中で、療育相談からサービス利用までの流れを見直すなど、課題の改善を図るべきではないか。

答 支援の流れを見直すなど、支援体制の充実を図る。

問 1人の子どもの連続した育ちの中で、保育園・幼稚園と療育機関の連携や就学、学校生活における障害福祉部門と教育部門の連携など部をまたぐ支援には未だ課題が残る。お互いの現場を知ってこそ本質的な連携と政策形成ができると考えるが、例えば学務課長が療育施設の見学に行くような機会はあるか。

答 これまで機会がなかったが、時期を捉えて行きたい。

問 組織編成から4年が経過した今、「全ての子どもの育ちを一体的に支える」という視点から、最も効果的な組織体制について検討を進めては。

答 連携を一層強化していく。



自由民主党議員団
加藤 たくま

中野サンプラザ再整備事業計画の抜本的見直し

問 区は「にぎわいの早期復活」を理由に再整備計画の改定を急ぐが、サンプラザは閉館前において、施設稼働による地域への経済波及効果は乏しかったと考えるが、どのような認識を持っているのか。

答 商店街や経済団体へのヒアリングによると、サンプラザでの単発・単独のイベントだけでは経済的効果を感じなかったと聞いている。

問 サンプラザで公演されるアーティストは、いわゆる「推し活」の対象となるアイドルや演歌歌手が多い。そのファンはグッズを購入するが、周辺商店街へ経済波及効果を及ぼさないと推測される。再整備で新ホールが3000人規模になった場合、同様の事態が起こると予測され、区が掲げるにぎわいの創出という趣旨と矛盾しているのでは。

答 再整備事業計画において、ホールや広場の配置、デッキ、ネットワークの整備等を通じ、来街者の回遊性を高め、周辺エリアへの波及の向上を図る。

問 多くの議員は、区が根本的なビジョンを描けていないため計画に納得できていない。本計画で何を成し遂げたいか。

答 100年先まで愛され、親しまれ、誰にとっても居心地が良く、安らげる、何度でも訪れたくなるまちになるよう、取り組んでいきたい。

問 今の答弁にワクワクする文脈はあるか。

答 これからワクワクしながら議論していただけるように、努力をしていきたい。



公明党議員団
南 かつひこ

成年後見制度の課題

問 民法の改正により、成年後見制度の3類型が一本化されるため、早急に成年後見制度利用促進計画を改定する必要がある。改定の範囲をどのように考えているか。

答 本人の意思尊重や意思決定支援がこれまで以上に重視されることになる。親族や支援関係者等の協力も得ながら、推定した本人の意思を尊重した支援が実現できるよう、計画に反映していく。

問 今後の成年後見制度連携推進協議会の在り方や、運営の仕方についての考えを伺う。

答 国の動向や制度改正の内容について情報共有を図り、地域連携ネットワークの強化について協議を進めていく。

問 被後見人が助成金を目的外に使用した場合や、破産手続を行った場合には、中野区補助金等交付規則に基づき補助金等の返還請求が可能だと考えるがどうか。

答 適正な公金執行は重要であり、返還請求の要件に該当する場合は、返還を求めることができると認識している。

北部すこやか福祉センターの建て替え

問 現地建て替えにおいて、敷地の高低差の問題や、第一種低層住居専用地域としての課題があると考えるがどうか。

答 用途地域の指定により延床面積や高さ等の制限がある。また、周辺道路との高低差など、バリアフリー動線の確保に課題があると認識している。

問 近隣商業地域にある障害者福祉会館の位置で、すこやか福祉センターの機能を持つ複合施設の整備を検討してはどうか。

答 区有施設整備計画における位置付けは無く、現地建て替えを想定しているが、財政負担の増加等を総合的に勘案し、代替案も検討していく。

厚生委員会視察報告



10月28日（水）から29日（木）に、佐賀県佐賀市の「5歳児健診」についてと、長崎県の「ケアラー支援」について視察を行いました。写真は長崎県での様子です。

建設委員会視察報告



10月27日（火）から28日（水）に、愛知県名古屋市の「事業用定期借地権を利用した駅前開発」についてと、京都府京都市の「Park－UP事業」について視察を行いました。写真は名古屋市での様子です。



日本共産党議員団
浦野　さとみ

暮らしの状況

問　特別区民税が全体として増加し、高額所得者も増える一方、生活援護課での相談件数はリーマンショック時に迫る勢いであり、直視すべき問題である。令和7年度の生活保護の申請件数と開始件数は。

答　申請件数は1014件、開始件数は922件で、ともに過去10年間で最多である。

問　全体の所得が上がる中、実際に暮らしにかかる費用を見ることが必要である。住宅費の負担や暮らし向き、可処分所得等について、世帯や年齢、家族構成類型別の視点で把握や分析を行っているのか。

答　区民全体の家計の負担感や暮らしの状況について、数値として把握はできていない。

問　熱中症で亡くなった方の93％が屋内で、そのうち8割以上はエアコンが設置されていたが、その多くは故障や使用していなかったことが原因である。暮らしを支え、何よりも命を守る観点から、電気代等のエネルギー関連費の補助や、都のようにそれを補完する支援を検討すべきでは。

答　今後も生活実態を丁寧に把握し、区民の暮らしを守る観点から、必要な対応を行う。

障がい児・者への移動支援

問　事業者から報酬が低いとの声があるが、他区の実態を踏まえ改善すべきではないか。

答　移動支援事業所を対象に、実態調査を実施したところであり、結果を踏まえ、報酬基準の在り方について検討する。

問　利用時間の上限を見直して拡充すべきではないか。

答　引き続き検討したい。

シルバーパス購入費助成

問　他区では、助成制度の導入目的として、高齢者が外出しやすい環境の整備や健康寿命の延伸、生活の質の向上等が挙げられている。区においても導入を検討すべきでは。

答　高齢者の外出支援や社会参加、健康増進の在り方については、研究していく。



立憲・国民・ネット・無所属議員団
酒井　たくや

教材費等の無償化

問　今年度より、教材費・修学旅行費等の費用負担補助の実施がスタートした。来年度の予算編成に当たり、現場の声を聴き、実績及び物価動向を適切に反映すべきでは。

答　物価動向等を踏まえ、補助基準額の妥当性を検証する。

狭小な校庭での体力向上と運動機会の確保

問　運動場面積が学校教育法の基準を満たしていない区立小・中学校は何校あるか。

答　小学校で10校、中学校で6校である。

問　都の「TOKYO ACTIVE PLAN for students」に体育健康教育推進校の指定制度がある。狭小な校庭での体力向上や運動機会の確保のモデル校の指定を受けてはどうか。

答　積極的に周知、参加を呼びかけ、更なる体力向上の取り組みの充実につなげていく。

問　学校用地を拡充するための考え方を持つべきでは。

答　基本的な考え方について整理していく。

学校プール

問　学校プールの暑熱対策としての日除け等の整備状況は。

答　未整備の学校もある。

問　学校ごとの整備状況の差をどのように解消するのか。

答　令和10年度までに完了するよう整備を進める。

問　屋内プールの整備は約14億円を要する一方、使用期間は限られている。一定の地域ごとに屋内プールを共用とすれば、安定的な水泳指導の実施と大きな財政効果にもなる。プールシェアを検討しては。

答　運用方法を検討する。

問　夏休み期間中、授業で使用していない学校プールを児童・生徒やその家族に開放する取り組みを検討しては。

答　ニーズや開放時間の拡大見込みを踏まえ、検討する。



都民ファーストの会中野区議団
内野　大三郎

基金と起債

問　今後必要となる事業費に対し、基金と起債をどのように活用するのか、その考え方を区民に分かりやすく示すべきではないか。

答　財政運営の考え方について区ホームページで公開することを今後検討していく。

サイバーセキュリティ対策

問　区内中小企業のサイバーセキュリティ対策の現状と課題は把握できているのか。

答　近年、サイバー攻撃による被害は中小企業にも広がる一方、対策の認識や具体的な対策が不十分な事業者もいるものと認識している。

問　相談や申請につなぐ支援を強化する考えはないか。

答　関係機関と連携し、各種支援制度の案内や必要な支援につなげていく。

3歳児健康診査の視力検査

問　区の3歳児健康診査における視力検査について、令和9年7月からランドルト環による視力検査へ移行する予定はあるのか。

答　令和9年度からランドルト環を使用する予定である。



自由民主党議員団
市川　しんたろう

1万人規模のホール整備

問　1万人規模について、大型施設は競合するという考え方だけではなく、音楽、アニメ、ゲーム、ライブエンターテインメントなどを核に、音響や観覧体験、アクセス、演者と観客の距離、ホスピタリティまで含め、競合があっても中野区が選ばれる世界水準の施設を造る可能性を検討すべきである。競合を避けるだけではなく、競合に勝つという発想も比較の俎上に載せるべきではないか。

答　複数の事業者ヒアリングによる都内のホール整備状況を踏まえ、優れた鑑賞・運営環境を実現できる規模と考えて現時点で設定している。

中野ブロードウェイの将来

問　これまで区は、中野ブロードウェイの将来的な更新に主体的に関与する考えを示してこなかった。中野駅周辺全体の価値を守る立場から、将来の合意形成、仮移転、営業・生活の継続、回遊、土地利用などの選択肢を残すのは行政だからこそできる役割である。新北口再整備を契機に、中野ブロードウェイの将来も視野に入れたまちづくりや考え方を一歩進めるべきでは。

答　中野ブロードウェイは、サブカルチャーやアニメ文化など、独自の魅力形成に大きな役割を果たしてきた。一方、再整備には合意形成や仮移転、営業継続などの課題がある。



公明党議員団
白井　ひでふみ

中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画の検証

問　旧計画では2つの事業構築パートナー名を公表し競合をさせ、区民会議で検討を行ったが、今回は企業名は非公表、有識者会議の概要のみの報告である。適切な情報開示と日程を再検証すべきでは。

答　有識者会議の概要を適宜公開し、策定に取り組む。

問　令和7年度の中野駅周辺整備の国庫補助要求額に対する交付率と前年度比較は。

答　79・7億円に対し37・9％、前年度は48％であった。

問　再開発事業は国庫補助から都区財調依存へ移行している。国庫補助減を鑑みて国・都の動向を分析すべきでは。

答　制度上、一般財源負担は生じないが、他事業への影響を踏まえ交付状況を注視する。

多様な住民等との共生のための仕組み構築

問　地域ルールを守らない住民等への相談が増加している。区民の我慢の上に共生社会を築いてはならない。日本人や外国人を含めた地域実態調査を行い、仕組みを創るべきではないか。

答　実情把握に努め、課題解決の仕組みを検討していく。

防災対策、受援計画の策定

問　熊本での支援経験から、災害時に応援支援等を受け入れる「受援計画」の策定を急ぐとともに、遠隔自治体との相互備蓄体制、アライアンス型を検討すべきではないか。

答　今年度中に計画の骨子を取りまとめ、相互備蓄体制の実効性を踏まえ検討する。

戦略としてアニメの聖地登録

問　アニメによる振興策を策定し、聖地登録に取り組む戦略を打ち出すべきではないか。

答　活用の方向性を整理し、聖地化の可能性を調査する。



日本共産党議員団
広川　まさのり

補助教材等の学校備品化

問　文部科学省は、保護者が購入する補助教材の必要性を見直すよう求めている。区も補助教材や学用品の学校備品化を進めるべきではないか。

答　国の通知や他自治体の状況を踏まえ、まずは彫刻刀の整備を想定し、学校と相談しながら進めていく。

学校図書館の充実

問　学校図書館業務の委託は、単年度の指名競争入札方式を区としては、当該地区でのまちづくり手法を研究し、地権者等の意向に応じた対話など必要な支援を行う。

見直し、複数年度契約のプロポーザル方式とすべきでは。

答　他自治体での導入状況や効果も参考に、プロポーザル方式の導入を検討していく。

問　全区立小学校に読み放題型電子図書館サービスを導入した代わりに、図書費が減った。本が減れば図書館は利用しにくくなる。拡充しては。

答　紙の図書とデジタルコンテンツの両方を生かし、限られた財源の中で蔵書と学習環境の充実を図っていく。

不登校児童・生徒の学習評価

問　文部科学省は、教育支援センターでの学習成果を高校入試等に反映する制度を検討しているが、不登校の子どもに学習や評価を押し付ける懸念がある。区の認識は。

答　学習や評価を一律に求めず、一人ひとりの状況に応じた目標の達成を支援していくことが重要と考えている。

もの忘れ検診の受診率向上

問　受診率向上のため、受診券等を送る対象を広げては。

答　受診状況や事業の効果、他自治体の取り組みも踏まえ、事業全体の中で検討していく。

ファミリーシップ制度の導入

問　パートナーシップ制度に加え、子どもだけでなく親なども家族と認めるファミリーシップ制度を導入しては。

答　課題の整理を行い、当事者の声や国の動向などを踏まえながら安心して活用できる制度となるよう検討を進める。



都民ファーストの会中野区議団
黒沢 ゆか

保育需要の地域偏在

問　区全体の一律的な枠組みだけで判断するのではなく、東中野などの保育需要が構造的に偏在している地域については、0歳枠や1歳枠を弾力的に増員するなど個別に対応する必要があるのではないか。

答　今後、エリア別で定員の弾力化を図っていくなど、地域の需給状況を踏まえ、必要な取り組みを実施したい。

中高生の発達支援の充実

問　中高生を含む学齢期の子どもたちに対し、発達の特性に応じた具体的な支援メニューを充実させていくべきでは。

答　子どもの特性に応じた支援プログラムについて、先進的な取り組みを研究するほか、関係機関と連携を図り、中高生年代を含めた切れ目ない支援体制を充実させていく。

ケアマネジャー確保策

問　区としても人材確保に向けた独自の支援策を強化していく必要がある。区の考えは。

答　国や都による支援の対象範囲や区内事業所における人材確保・定着の課題を把握し、必要な支援を検討する。



立憲・国民・ネット・無所属議員団
中村 延子

行政評価による事業見直し

問　次定例会で報告される予算で検討中の主な取り組みで、見直し事業を公表しては。

答　予算規模や区民生活へ影響が大きいものは、取組（案）で見直し事業を示していく。

産後ケアの充実

問　先進自治体の事例を参考に、区も産後1年以降の母子支援を検討すべきではないか。

答　産後ケアは、今年度から多胎児の利用回数の見直し等の拡充を行った。利用対象年齢も柔軟な対応が求められていると認識しており、ニーズの把握に努め検討していく。

母子保健DXの推進

問　電子母子手帳の導入により、申込みの一体化・簡素化や利用状況の適切な管理が期待される。病児・病後児保育をはじめ、母子手帳の情報を活用する子育て支援施策についても申込みできるようにすべきと考えるが、検討状況は。

答　様々なサービスの利用しやすさの向上に努める。

水害対策

問　線状降水帯などの災害情報は区民の不安に直結する。必要な情報を適切な内容とタイミングで発信することが重要と考えるが、区の認識は。

答　気象情報は、区民の安全確保の上で重要である。雨量や河川水位等を総合的に把握し、区民が適切な行動につなげられるよう、区の対応状況と併せて情報を発信していく。

風水害時の学校対応

問　大雨等への対応に関する前日のお知らせは全校共通の内容であるにもかかわらず、学校ごとに配信時刻が異なっている。教育委員会から一括して配信すべきではないか。

答　学校と調整の上、前日のお知らせは、教育委員会から一斉配信するよう見直す。



自由民主党議員団
武井 まさき

郵便局との連携拡充

問　郵便局の地域ネットワーク等を今後の地域政策の重要な連携先として位置付けては。

答　郵便局は、地域住民と日常的な接点を持つ重要な連携先の一つと考えている。

問　区民の利便性、地域需要、費用対効果、地域事務所との役割分担を検証し、郵便局に担ってもらうことが効率的な業務を具体的に選定しては。

答　公平性、事務負担、持続可能性、実施効果、地域性等の観点や全国の事例等を参考に研究していく。

問　個別の連携協定にとどまらず、地域が抱える様々な課題の解決や区民サービスの向上につなげるため、包括連携協定の締結を検討しては。

答　連携の可能性について、区の考えを整理するとともに、郵便局の意向等も確認する。

健康寿命の延伸

問　受診や通院もしていないハイリスクな高齢者を見逃さないセーフティネットとして、長寿健診が果たす役割について、区の認識は。

答　医療や健診の機会から途切れてしまった高齢者を見逃さず、重症化する前に発見し、医療や地域につなぎ直すための重要なセーフティネットであると認識している。

問　長寿健診の自己負担金500円を廃止し、完全無償化に踏み切るべきではないか。

答　受益者負担の考えから、自己負担金をお願いし、支援が必要な方には、免除制度を設けている。今後も健診受診率向上に努めていく。



立憲・国民・ネット・無所属議員団
細野 かよこ

ジェンダー平等

問　区の男女共同参画基本計画の各事業がジェンダー平等に寄与しているか検証しては。

答　次期計画の策定に合わせて検討していく。

問　今後の予算編成や行政評価に、ジェンダー主流化の考え方を取り入れるべきでは。

答　ジェンダーの視点を踏まえたものとなるよう確認する。

災害時の医療機器の電源確保

問　停電が長期化し、蓄電池や人工呼吸器のバッテリーを充電する必要が生じた場合、充電できる場所はあるか。

答　4カ所のすこやか福祉センターに充電ステーションを開設する想定である。

問　災害時の電源確保をより充実させる必要があるのでは。

答　検討を進めていきたい。

切れ目のない介護支援

問　介護認定に時間を要する状況が続いている。改善策は。

答　更なるデジタル技術活用や調査体制の強化等を進める。

問　申請から最終認定までの具体的な目標を設定し、認定期間の短縮に努めるべきでは。

答　検討していく。

問　第2号被保険者も、おむつ給付の対象とすべきでは。

答　検討していく。

問　事業所の経営基盤の維持にどのように取り組むのか。

答　現場の状況を継続的に把握し、課題解決を支援する。

旧沼袋小学校跡地活用

問　閉校から15年が経過した。将来像や活用の方針変更について、節目ごとに地域住民へ十分な説明を行ってきたのか。

答　最終的な活用方針について、地域への明確な説明はしていない状況だと考えている。

問　住民が参加できる機会を設け、意見を反映すべきでは。

答　地域と区が互いに認識を深められるよう努め、跡地について地域と共に考えていく。



公明党議員団
日野 たかし

整備計画と連動した財政運営

問　世田谷区は、施設整備計画の中で政策ごとに経費の削減効果を試算している。施設整備によって削減できる額を数値で評価できるため、取り入れるべきではないか。

答　政策ごとの縮減額の示し方など、分かりやすく示す工夫をしていく。

問　施設整備計画を実施した場合の将来を示す財政的な出口管理として、年間整備費、基金、起債、償還額等と施設整備計画を連動させた予測をしてはどうか。

答　各金額と施設整備計画を連動させた予測については、毎年度、当初予算の概要で示していきたい。

生成AI導入の効果と検証

問　導入ライセンス数ありきではなく、職員の業務削減時間や費用対効果、区民サービスに向けられた時間などを合わせたKPIを具体的に評価するべきではないか。

答　超過勤務の削減を中心としたKPIを設定し、削減時間と経費を対比した費用対効果を測定していく。

問　更に深いレベルでの行政改革を可能にすべく、生成AIを高度に生かすための専門部署や課の設立を検討しては。

答　専門部署設置の必要性については、組織全体の体制を踏まえながら整理していく。

災害対策

問　災害時相互応援の協定において各自治体のレンタカー店等で軽トラック確保の取り組みを検討するべきでは。

答　災害時における軽トラックの確保については、狭隘道路が多いという中野区の特性を踏まえて検証し、有効性が認められる場合には、レンタカー事業者との協定を含めた確保手法について、各自治体の例も含め研究していく。

西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟の決起大会



8月27日に、野方区民ホールで、西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟決起大会が行われました。

森たかゆき議長が出席し、区議会代表として挨拶（あいさつ）を行いました。

中野区議会では、
ペーパーレス化等の推進のため、
デジタル機器を活用しています。

区議会各会派のEメールアドレス

立憲・国民・ネット・無所属議員団	rikkennakano@gmail.com
自由民主党議員団	office@njp.gr.jp
公明党議員団	netnakano@gmail.com
日本共産党議員団	mail@jcpnakanoku.net
都民ファーストの会中野区議団	tomin1st.nakano@gmail.com



自由民主党議員団
大内　しんご

北原小学校改築に伴う避難所

問　北原小学校は、主に丸山二丁目、野方六丁目の避難所となっている。改築に伴い、避難所はどこに変わるのか。

答　野方北町会防災本部の避難所は、北原小学校から代替校舎である旧明和中学校へ、丸山町会防災会は、緑野小学校への変更を検討している。

沼袋小学校体育館の耐震診断

問　沼袋小学校の体育館は耐震診断でBランクとされ、避難場所から除外されている。Bランクでも体育館を避難所としている学校もある。避難場所にできるか再診断しては。

答　検討していきたい。

平和の森小学校跡地の活用

問　跡地には何をつくるのか。

答　児童発達支援センターや保育園に加え、複合交流拠点として男女共同参画センター、中高生年代向けの拠点施設、交流スペースを設ける。

問　会館のない町会も使える50から100人規模の集会室など、核となる交流スペースを確保し、誰もが自由に立ち寄れる場所としてはどうか。

答　大規模な集会室や多目的な交流スペースなどの機能は、実現の可能性も含めて検討し、多くの人が交流できる施設を目指していく。

来庁者用駐輪場の屋根設置

問　来庁者用駐輪場は雨の日にかっぱを脱ぐ場所もない。以前から要望している屋根の設置の検討状況は。

答　設置に向けて、整備手法や設置場所を検討している。



立憲・国民・ネット・無所属議員団
山本　たかし

不登校対策

問　現在、みらいステップなかのに、フリーステップルームが設置されているが、その環境におけるメリットは。

答　フリーステップルームに通う児童・生徒が、併設の中野東図書館を通じて読書や友達との交流を深めるとともに、中野東中学校の体育館利用により、体力向上や健康の保持増進に繋がっている点である。

問　フリーステップルーム分室の設置場所の候補として、北部エリアでアクセスがよい、野方図書館を検討すべきでは。

答　アクセスがよく、敷地面積も広いことに加え、複合施設として図書館も利用しやすい環境であるため、候補地の1つとして検討していく。

小中学校の周年行事

問　学校の周年行事は、地域からテント等の寄贈を受ける一方、看板や年表の設置など多くの経費を要する。学校運営経費として整理すべきでは。

答　テントの購入や周年看板設置経費を、校割予算で執行している学校もあり、学校運営経費に該当するものもある。

問　地域が学校運営経費以外の記念品を贈りやすくなるよう、学校に必要な物品は校割予算を加算して対応しては。

答　まずは、各学校で実行委員会等から寄贈されている物品や経費の状況把握に努める。

災害対策士

問　災害対策士などの防災に関する専門的な知識や、技能を有する人材について、区職員の育成や災害対応への活用を進めるべきではないか。

答　他自治体の取り組みを参考に研究していく。

問　地域防災力の向上を図るため、区民に対し、災害対策士の資格取得に対する助成制度を創設すべきではないか。

答　必要性なども踏まえ、補助する項目を検討していく。



無所属
むとう　有子

犯罪被害者支援

問　経済的支援の申請期間を7年に延長し、日常生活支援の申請期間は2年に延長して回数も増やし、性犯罪や詐欺被害者も対象にするべきでは。

答　検討していく。

問　学童期からの犯罪予防教育を強化するべきではないか。

答　充実に努めていく。

区長申立て成年後見

問　本人の意向と人権を尊重し、不要な区長申立てを防ぐための今後の取り組みは。

答　制度の適正運用に努める。

幼稚園整備基本構想

問　幼保連携型認定こども園も選択肢として残しては。

答　将来の教育や保育の変化に柔軟に対応して整備する。



無所属
小宮山　たかし

なかの芸能小劇場

問　なかの芸能小劇場の土日の枠を、特定の事業者が毎月20～30％も占有し続けている。より公平な利用機会のためにルールを見直すべきでは。

答　現時点でルールを見直す考えはないが、区民等の文化芸術活動の場と鑑賞機会の両立に努めていく。

リユース品販売

問　リサイクルはもはや常識であり、リサイクル展示室の存在意義がなくなっている。近隣区のようにリユース品販売をするなど、施設そのものをリサイクルするべきでは。

答　他自治体等の取り組みについて情報収集を行い、リサイクル展示室を含めた効果的なリユース施策を検討する。





無所属
石坂　わたる

問　中学校卒業前に、家庭環境や情緒、発達、SOGI、日本語力等に配慮が必要なケースを協議会で取り上げては。

答　必要な事案が生じた場合は開催依頼し、支援に努める。

効率よく効果の高い行政

問　新規事業の立ち上げに対し、廃止事業が少ない。課や部の事業見直し等も必要では。

答　対象事業を抽出し、効果検証して見直しに繋げている。

問　既存業務のコストを圧縮する情報システムを導入し、効率化に取り組むべきでは。

答　効果を業務改善に活かす。

区議会議員選挙の翌日開票

問　即日とせず、経費節減を。

答　選挙管理委員会で決する。



無所属
立石　りお

学校PC教室の戦略的活用

問　中学校のコンピューター教室の有効活用について、研究指定校や合同プログラミング部、ロボコン部等に特化したハイグレードな環境整備の可能性も含め、検討しては。

答　今年度の成果と課題を分析し、今後、高性能なコンピューター活用を含め必要な環境整備を検討していく。

Wi-Fi整備の全体方針

問　各施設の区民向けフリーWi-Fiの整備基準や考え方について、個別のニーズだけでなく、未対応の施設も含め、整備方針や考え方を定めた上で整備を進めるべきでは。

答　区民の利用ニーズや施設の特性を踏まえ、今後の整備の考え方を整理していく。



無所属（日本維新の会）
斉藤　けいた

学校給食費の無償化

問　給食費の全額補助による保護者負担の軽減に加え、物価高騰の中でも給食の質を維持できたか、決算で検証する必要がある。給食費の全額補助開始前の令和5年度と比べて、令和7年度も給食の質を維持できたと評価しているのか、判断の根拠と令和7年度に行った主な取り組みについてもあわせて伺う。

答　毎年、食材産地や学校給食摂取基準を踏まえた中野区学校給食献立作成方針を作成しており、献立の質を保っている。令和7年度においても給食の質を保つために、教育委員会において、学校長、栄養士、PTA代表者等を構成員とする給食運営委員会で協議を行ったところである。



無所属（いのちの党）
井関　源二

令和7年度決算

問　人口増加の要因や外国人住民の推移に対する見解は。

答　若い世代や外国人住民の転入が要因と考える。多様性を区の特性と捉え、誰もが安心して暮らせる地域を目指す。

問　税収増加の主な要因は。

答　人口増加に伴う納税義務者数の増加と考えている。

問　いじめによるSNS上のトラブルや性被害への対策は。

答　情報モラル教育等を充実させ、スクールロイヤーや警察等との連携を強化していく。

消費税に対する区の認識

問　消費税は法人税の減税分に充てられていると考える。社会保障を支える財源だという区の認識を改めるべきでは。

答　区の考えに変わりはない。

中野区議会は、虚礼等の廃止を決議しています

虚礼等廃止の主な事項

- 時候の挨拶状の送付
- 中元、歳暮等の贈答
- 慶事、弔事についての廃止事項　①祝儀、香典、供花の贈与　②祝電、弔電等の発送
- 病気等の見舞における金品等の贈与
- 新聞、雑誌、名簿、掲示板等への広告
- 各種行事、各種団体に対する寄付・カンパ、祝儀、祝電、金品等の贈与等

贈らない
求めない
受け取らない

令和7年度 決算に対する 各会派の見解

生活を支え未来へつながる区政運営を

立憲・国民・ネット・無所属議員団

令和7年度一般会計決算は、歳入歳出ともに大きく規模が拡大した一方で、財政指標においてはいずれも健全性を確保されたことから、必要な行政サービスが着実に実施されたものと評価しています。

歳入は、所得や納税義務者数の増に伴う特別区民税増加により、堅調といえます。特別区交付金も増となりましたが、区の行政需要には未だ及んでおらず、都とさらなる協議を行うよう求めます。歳出においては、好調な歳入に支えられ、区独自の価格高騰対策をはじめとした、区民の暮らしを守る施策に取り組みました。また、基金を繰入れ、期中に新庁舎整備債の繰上げ償還等を行ったことを評価します。併せて、基金・起債計画については、今後も施設更新が続くことを見据え、資産評価や金利負担の視点も重視して取り組まれるよう強く求めます。

個別施策では、防災対策、デジタル地域通貨事業、病児保育事業、常設プレーパーク開設、学校運営協議会全校設置、コミュニティソーシャルワーカーの導入、妊娠・出産・子育てトータルケア事業、歩きたくなるまちづくり等を評価します。

「子育て先進区」施策をはじめとした区の重点施策を通して、区民全体の満足度を底上げし、未来へつながる区政を求めます。

財政に覚悟を、未来に責任を

自由民主党議員団

令和7年度決算では、経常収支比率の改善や地方債残高の減少など、現時点での財政健全性は確保されています。一方で、積立基金残高は約102億円減少しており、現在の数字だけを見て財政に余裕があると判断すべきではありません。今年度策定された区有施設整備計画では、将来人口に合わせ減少させるべき総延べ床面積の縮減時期が2025年から2040年以降へ後ろ倒しされており、建設費のみならず、光熱水費、維持管理費、修繕費など将来の経常経費まで見据えた判断が必要です。施設規模や複合化、民間活用の可能性を厳格に検証し、財政規模に見合った施設整備を進めるべきです。中野サンプラザについては、我が会派が提案した区への寄附が実現し、中野駅前の重要な資産が区の直接所有となった点を評価します。また、新庁舎整備に係る特別区債の繰上償還も、将来の元利償還負担を軽減する財政判断です。

基金を積むことも、債務を減らすことも、将来の財政余力の確保という目的は共通しています。必要な施策には機動的に投資しつつ、その効果を不断に検証する姿勢も重要です。基金、地方債、公債費、施設整備費、経常経費を一体的に捉え、税収が上振れした際には新規事業だけでなく基金積立てや債務削減にも振り向け、将来世代にツケを残さない財政運営を強く求めます。

区民生活と未来を見据えた財政運営を

公明党議員団

令和7年度は、区民生活を支える施策が着実に前進した一方、将来の財政運営に課題を残した年度である。

歳入は堅調であり、物価高騰対策給付金の拡充、防犯機器等購入緊急補助、常設プレーパーク開設、重度障害者グループホーム整備、病児・病後児保育の偏在解消、省エネ設備補助、CSW導入、感震ブレーカー配布など、我が会派が求めてきた施策が実現した点を高く評価する。一方、財政指標は単年度では改善が見られるものの、特別区債残高は依然として23区平均を大きく上回り、基金残高も減少した。学校改築、中野駅周辺まちづくり、西武新宿線沿線まちづくり、公共施設更新など大規模投資が続く中、国庫補助金の減額や物価高騰、金利上昇を踏まえ、一般財源負担の見通しを丁寧に示す必要がある。中野駅新北口駅前エリア再整備は計画の根幹が大きく見直され、財政影響も長期に及ぶ。事業手法ごとのリスクや国庫補助の状況、都区財政調整への影響を区民と議会が検証できる形で示し、説明責任を徹底すべきである。また、中野二丁目再開発権利床活用事業では区有財産の保全が不十分であり、内部統制の強化を求める。

監査の指摘を重く受け止め、財政規律の強化、民間活力の活用、ライフサイクルコストを踏まえた長期的な財政見通しの提示を求める。

暮らし続けられる中野へ

日本共産党議員団

2025年度は区民の願いにこたえる施策として、複雑化・複合化した課題を抱える家庭への支援を強化するためのコミュニティソーシャルワーカー配置、孤独・孤立対策、聴力健診やもの忘れ検診、まちなかベンチの設置、耐震改修助成の対象拡大、再生可能エネルギー・省エネルギー機器導入補助の拡充などに取り組まれたことは重要でした。また、病児保育事業やショートステイ事業、里親養育包括事業、子どもの居場所づくりも前進しました。

特別区税や特別区交付金などの区の基幹歳入は、好調な状態が続いており、各財政指標も健全な状態です。一方で、生活援護課に寄せられる生活相談や生活保護申請数・開始決定数は過去10年間で最多となり、リーマンショック時に迫る勢いです。また、住宅費や教育費の負担が大きい都心部では、可処分所得から基礎的支出と教育費を差し引くと、生活資金が全国を下回るなど、所得だけで実際の暮らし向きや支援ニーズを十分に捉えきれない可能性もあり、区民の生活実態を多角的に把握することが求められます。

健全な財政を「住民福祉の増進」のために活かすことが重要です。公契約条例の労働報酬下限額の引き上げ（賃金の引上げ）や包括的な住まい支援など、中野区に暮らし続けられる施策展開を強く要望します。

中野駅前の未来が動き出す！

都民ファーストの会中野区議会

令和7年度の歳入は定額減税の縮小により特別区税が前年比10・4％の大幅増となりました。この影響で前年比9・3％増の2070億円、実質収支は34億円。各種指標においても健全な財政状況といえます。区民の皆さまのご努力により、税収は好調な状況です。歳出執行率は94・9％まで向上。不用額は71億円。3年前に会派として指摘した際の115億円から大幅に減少。一定の精度が定着しました。

政策面では、小学校で指定校変更を行った児童が中学校でも変更後の小学校の同級生と同じ学校に通学できるようになったこと、病児保育事業の拡充、常設型プレーパークの開設、デフリンピックへの会場提供、町会、商店街、友愛クラブ、シルバー人材センター、区民公益活動等の区民の活動への支援強化、など我が会派がお願いした政策が多数実現したことを評価します。

令和7年度には、新庁舎建設に係る公債の繰上償還、中野サンプラザの取得により今後の中野駅新北口エリアの再開発の自由度が大きく増しました。

まもなく再整備事業計画改定案が出されます。駅前の一等地を今の状態で置いておくことは機会損失以外の何ものでもありません。本年は12月に生まれ変わる中野駅そして駅周辺全体での相乗効果を上げるためにも、早期の再整備を進めるべきです。

区議会だよりへのご意見、
ご感想、ご要望など
ありましたら、今後の参考に
させていただきますので、
郵送・電話・FAX・
Eメールなどでお気軽に
区議会事務局まで
ご連絡ください。



〒164−8501
中野区中野4−11−19
電　話　03−3228−5585
FAX　03−3228−5693
Eメール　kugikaijimu@city.tokyo-nakano.lg.jp

なかの区議会ホームページでは

文字拡大・音声読み上げソフト

をご利用いただけます

以下の機能がご利用いただけます。

①表示サイズ変更（50%～600%）
②色の変更（色調反転、白黒反転、白黒）
③音声読み上げ
④ふりがな

問合せ
区議会事務局

第3回定例会 可決した議案

区長提出議案

●令和8年度中野区一般会計補正予算（第3次）
歳入歳出にそれぞれ、1億9012万4千円を追加し、既定予算との合計額は、2138億6251万7千円となりました。

●昭和区民活動センター新築等工事請負契約に係る契約金額の変更について
契約金額を変更するに当たり、議決をしたものです。

●仮称江古田三丁目重度障害者グループホーム等新築工事請負契約に係る契約金額の変更について
契約金額を変更するに当たり、議決をしたものです。

●昭和区民活動センター新築に伴う電気設備工事請負変更契約
契約金額を増額する変更契約を締結するに当たり、議決をしたものです。

●大和西児童館内装改修等工事請負契約
大和西児童館内装改修等工事に係る請負契約を締結するに当たり、議決をしたものです。

●弥生児童館内装改修等工事請負契約
弥生児童館内装改修等工事に係る請負契約を締結するに当たり、議決をしたものです。

●中央公園再整備工事請負契約
中央公園再整備工事に係る請負契約を締結するに当たり、議決をしたものです。

●中野区指定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例
児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準の改正に伴い、児童対象性暴力等の防止等について規定を整備するものです。

●中野区指定障害児入所施設等の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例
児童福祉法に基づく指定障害児入所施設等の人員、設備及び運営に関する基準の改正に伴い、児童対象性暴力等の防止について規定を整備するものです。

●中野区旅館業法施行条例の一部を改正する条例
旅館業の許可の申請に係る添付書類を改めるとともに、周辺地域の生活環境への悪影響の防止等のための従業者の常駐及び営業者が措置命令等に違反した場合の公表について規定するものです。

●中野区住宅宿泊事業の適正な実施の確保に関する条例の一部を改正する条例
住宅宿泊事業の実施を制限する区域及び期間並びに住宅宿泊事業を営む旨の届出に係る添付書類を改めるとともに、住宅宿泊事業者が業務改善命令等に違反した場合の公表について規定するものです。

●中野区児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例
児童福祉施設の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、児童対象性暴力等の防止について、規定を整備するものです。

●中野区家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、児童対象性暴力等の防止及び満3歳以上限定小規模保育事業について、規定を整備するものです。

●中野区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の改正に伴い、満3歳以上限定小規模保育事業について規定を整備するものです。

●中野区住民基本台帳閲覧制限等の期間見直しを求める意見書

●中野区幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例
幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準の改正に伴い、児童対象性暴力等の防止について、規定を整備するものです。

●中野区幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件に関する条例の一部を改正する条例
就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第三条第二項及び第四項の規定に基づき内閣総理大臣及び文部科学大臣が定める施設の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、児童対象性暴力等の防止について、規定を整備するものです。

●中野区乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例
乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、児童対象性暴力等の防止について、規定を整備するものです。

●中野区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例
公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償の基準を定める政令の改正に伴い、介護補償及び葬祭補償の額並びに補償基礎額を改めるものです。

●旧中野刑務所正門移築及び修復工事請負契約に係る契約金額の変更について
契約金額を変更するに当たり、議決をしたものです。

●中野本郷小学校校舎新築等工事請負契約に係る契約金額の変更について
契約金額を変更するに当たり、議決をしたものです。

●中野本郷小学校校舎新築に伴う機械設備工事請負契約に係る契約金額の変更について
契約金額を変更するに当たり、議決をしたものです。

●中野本郷小学校校舎新築に伴う電気設備工事請負契約に係る契約金額の変更について
契約金額を変更するに当たり、議決をしたものです。

●平和の森小学校校舎新築等工事請負契約に係る契約金額の変更について
契約金額を変更するに当たり、議決をしたものです。

●塔山小学校環境改善改修工事請負契約に係る契約金額の変更について
契約金額を変更するに当たり、議決をしたものです。

●啓明小学校環境改善改修工事請負契約に係る契約金額の変更について
契約金額を変更するに当たり、議決をしたものです。

●明和中学校跡施設代替校舎改修工事請負契約に係る契約金額の変更について
契約金額を変更するに当たり、議決をしたものです。

●上鷺宮小学校環境改善改修工事請負契約に係る契約金額の変更について
契約金額を変更するに当たり、議決をしたものです。

●第七中学校校舎新築に伴う電気設備等工事請負契約
第七中学校校舎新築に伴う電気設備等工事に係る請負契約を締結するに当たり、議決をしたものです。

●第七中学校校舎新築に伴う機械設備工事請負契約
第七中学校校舎新築に伴う機械設備工事に係る請負契約を締結するに当たり、議決をしたものです。

●中野本郷小学校新校舎用什器類の買入れについて
財産の取得に当たり、議決をしたものです。

●令和8年度中野区一般会計補正予算（第4次）
歳入歳出にそれぞれ、19億4923万円を追加計上し、既定予算との合計額は、2158億1174万7千円となりました。

●和解及び損害賠償額の決定について
保育園児の骨折事故に伴う損害賠償について、和解を成立させ、損害賠償額を決定するに当たり、議決をしたものです。

第3回定例会 可決した意見書

◆DV等被害者支援措置としての住民基本台帳閲覧制限等の期間見直しを求める意見書

◆夏休み中の子どもの貧困対策および緊急セーフティネットの強化を求める意見書

◆「防災庁」発足を見据えた地方自治体との連携強化および防災体制の抜本的強化を求める意見書

◆裁量労働制の拡大に反対する意見書

議員提出議案

●意見書（4件）
（件名は次項に掲載）

●議員の派遣について
第37回東京都道路整備事業推進大会に議員を派遣するものです。

区議会を傍聴してみませんか

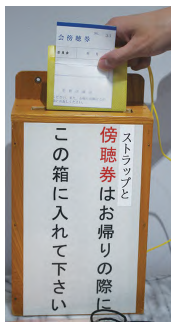
本会議や委員会の傍聴は、どなたでもできます。本会議場には、親子傍聴席をご用意しています。小さなお子様をお連れの方などは、一般席と親子席のどちらでも傍聴ができます。傍聴希望の方は、会議の当日、区議会事務局（区役所10階）で傍聴の手続きをしてください。

受付は会議開会の1時間前から、入場は30分前からになります。本会議は定員100人、委員会は定員15人です。

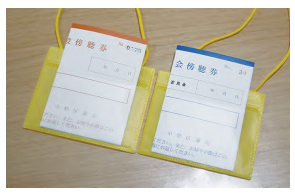
また、傍聴券を首にかけられるようストラップをご用意しております。お帰りの際には傍聴券・ストラップをあわせて返却箱にお入れください。

なお、令和6年第3回定例会より、傍聴者の方も、お手持ちのパソコンやタブレット端末を利用して、会議の資料を閲覧することができるようになりました。詳しくは、なかの区議会ホームページの「お知らせ一覧」をご覧ください。

【問合せ】区議会事務局



返却箱


傍聴券及びストラップ

陳情の審議結果

第3回定例会における陳情の審議結果は、次のとおりです。

採択

第17号陳情　中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画改定に係る有識者会議の公開と区民との意見交換の場を求める陳情（2項、5項、6項）
——賛成少数

第18号陳情　区長記者会見放送は不都合なカットをしないで放送して下さい
——賛成少数

第20号陳情　中野サンプラザ跡地の地盤調査を実施し、結果を区民に公開することを求める陳情
——賛成なし

継続審査

《建設委員会付託》
第16号陳情　中野サンプラザにある航空障害灯の点灯を求める陳情

不採択

第7号陳情　中野区議会議員のSNS利用に関するリテラシー向上および研修の実施を求める陳情
——賛成なし

第10号陳情　中野区における住宅宿泊事業及び旅館業に関する条例改正スケジュールの見直し及び丁寧な検討を求める陳情
——賛成少数

第12号陳情　中野区の民泊及び旅館業の解説書を作成して下さい
——賛成なし

第13号陳情　「中野区宿泊事業者協議会」開設を求める陳情
——賛成なし

第17号陳情　中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画改定に係る有識者会議の公開と区民との意見交換の場を求める陳情（3項、4項）
——全会一致

第21号陳情　民泊及び旅館業の標識掲示を徹底して下さい
——全会一致

議案に対する討論

議案の審議に当たり、次の議員が討論を行いました。

中野区住宅宿泊事業の適正な実施の確保に関する条例の一部を改正する条例

◆賛成討論
武田　やよい（共産）
（審議結果　可決）

令和8年度中野区一般会計補正予算（第4次）

◆反対討論
石坂　わたる（無所属）
（審議結果　可決）

閉会中の委員会の動き

令和8年7月～8月

▼総務委員会
8／19　報告7件を聴取

▼区民委員会
8／19　報告6件を聴取

▼厚生委員会
8／28　報告7件を聴取

▼建設委員会
8／21　報告5件を聴取

▼子ども文教委員会
8／21　報告11件を聴取

▼中野駅周辺整備・西武新宿線沿線まちづくり調査特別委員会
8／28　報告3件を聴取

▼議会運営委員会
8／24　第3回定例会の日程などを協議
8／31　第3回定例会の招集日の確認や日程などを協議

今後の議会日程

現在予定されている議会日程は、次のとおりです。

●第4回定例会（予定）
11月26日～12月11日

議会日程は変更されることがあります。詳しくは、中野区議会ホームページまたは区議会事務局へ。

中野駅周辺整備・西武新宿線沿線まちづくり調査特別委員会視察報告



11月2日（月）に、静岡県静岡市の「草薙駅周辺のエリアマネジメント」について視察を行いました。写真は草薙カルテッドでの様子です。

子ども文教委員会視察報告



10月20日（火）から21日（水）に、静岡県磐田市の「探究的な学び」についてと、愛知県江南市の「部活動の地域移行」について視察を行いました。写真は磐田市での様子です。

意見の分かれた案件（第3回定例会）

【○：賛成　×：反対】

議案名等＼議員名等	立国ネ無（11） 大塚　けいじゅ いのつめ　正太 間　ひとみ 河合　りな 細野　かよこ 斉藤　ゆり 杉山　司 ひやま　隆 山本　たかし 中村　延子 酒井　たくや	自民（8） 高橋　ちあき 山内　あきひろ 武井　まさき 市川　しんたろう 加藤　たくま 高橋　かずちか 大内　しんご 伊藤　正信	公明（7） 日野　たかし 木村　広一 甲田　ゆり子 小林　ぜんいち 白井　ひでふみ 平山　英明 南　かつひこ	共産（5） 武田　やよい 広川　まさのり い さ　哲郎 羽鳥　だいすけ 浦野　さとみ	都ファ（3） 黒沢　ゆか 大沢　ひろゆき 内野　大三郎	無所属 斉藤　けいた	井関　源二	立石　りお	小宮山　たかし	石坂　わたる	むとう　有子	結果
決算												
令和7年度中野区一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	認定
令和7年度中野区国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	認定
令和7年度中野区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	認定
令和7年度中野区介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	認定
区長提出議案												
旧中野刑務所正門移築及び修復工事請負契約に係る契約金額の変更について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和8年度中野区一般会計補正予算（第4次）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
陳情												
中野区における住宅宿泊事業及び旅館業に関する条例改正スケジュールの見直し及び丁寧な検討を求める陳情	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	不採択
中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画改定に係る有識者会議の公開と区民との意見交換の場を求める陳情（2項）	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	不採択
中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画改定に係る有識者会議の公開と区民との意見交換の場を求める陳情（5項）	×	○	○	×	×	×	○	×	○	○	○	不採択
中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画改定に係る有識者会議の公開と区民との意見交換の場を求める陳情（6項）	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	不採択
区長記者会見放送は不都合なカットをしないで放送して下さい	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	不採択

◎会派等の略称
立国ネ無：立憲・国民・ネット・無所属議員団　自民：自由民主党議員団　公明：公明党議員団　共産：日本共産党議員団　都ファ：都民ファーストの会中野区議団
◎議員数は、議長（森たかゆき（立国ネ無））を除いています。